

パーソナルラミネータ
クイックラミR4A3 Pro
NQL-R4HSA3

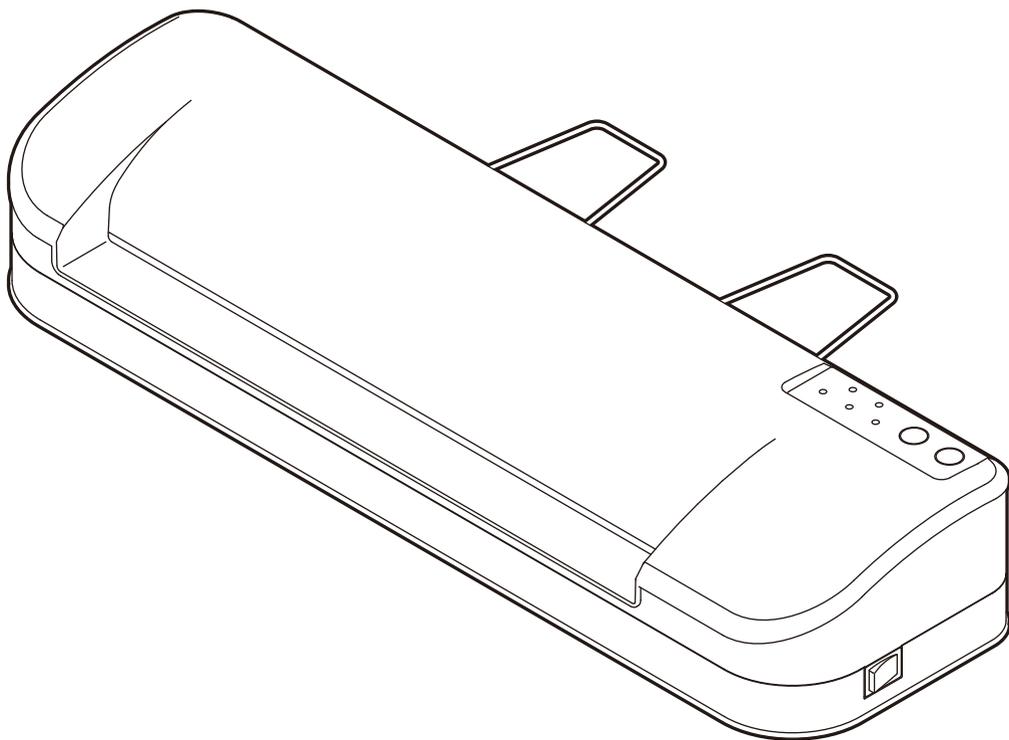
Nakabayashi

取扱説明書

●保証書付●

この度は、パーソナルラミネータクイックラミR4A3Pro NQL-R4HSA3 を
お買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- 本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なお使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。

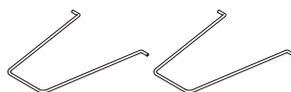
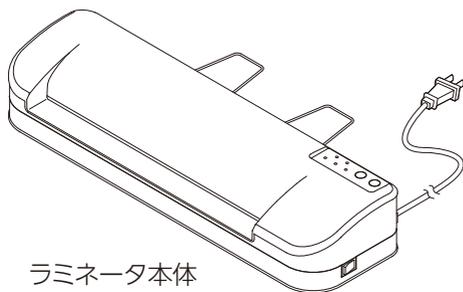


目次

目次・梱包内容の確認	P.1
安全上の注意事項	P.2～3
各部の名称と働き	P.4
ラミネートについて・ラミネートする前のご注意・自動休止機能について	P.5
ラミネートを行う…ラミネートフィルムの準備・ラミネータの準備・ラミネートの開始	P.6～8
ラミネートを行う…ラミネートの終了	P.9
ローラークリーニング	P.9
フィルムづまりのトラブル	P.10
故障かな?と思ったら トラブル時のチェックポイント	P.11～12
本体のお手入れ・ラミネートQ&A	P.13
主な仕様	P.14
保証書	裏表紙

梱包内容の確認

下図のとおり、本体および付属品が同梱されていることをご確認ください。



ワイヤータイプトレー
(2本1セット)



クリーニングペーパー (1枚)



取扱説明書/保証書 (本書)

※お買い上げのレシートやネット
通販の購入記録を一緒に保管し
ておくことをお勧めします。

安全上の注意事項 安全のため必ずお守りください

この取扱説明書には製品を安全に正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防止するために絵表示を使用して注意事項を記載しています。以下に絵表示の内容と意味を表記しますので、理解してから本文をお読みになり本機を使用してください。



警告

この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止事項を示します。禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、ケガを負う危険があります。禁止の内容を  の中に絵文字で示します。



要請事項を示します。要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。要請の内容を  の中に白抜き絵文字で示します。



機械を使用する際の保守上の注意及び補足や参考を示します。



●設置上の注意事項



次のような場所への設置は避けてください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・極端に温度や湿度が高いまたは低い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所
- ・ほこりや振動の多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所
- ・エアコンの冷風や温風、扇風機の風が直接当たる場所



機械の上に物を置かないでください。本体上部は高温になるため、置いた物が変形したり機械の故障の原因となります。



機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



●ご使用上の警告事項



表示された電源・電圧以外で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電の恐れがあります。



熱に弱い敷物の上や燃えやすい物の近くで使用しないでください。火災や機械の故障の原因になります。



お子様や乳幼児の手の届く所に設置しないでください。やけどやケガ、感電の恐れがあります。

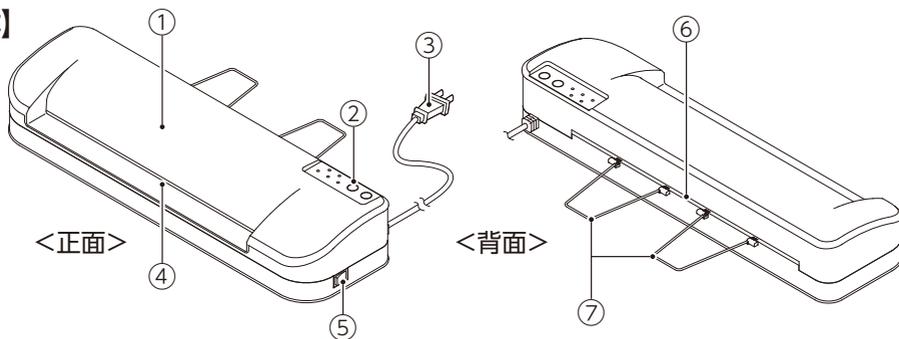
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	お子様だけでの使用や乳幼児の手の届く所での使用は避けてください。やけどやケガ、感電の恐れがあります。
	本機の分解や改造はおやめください。やけどやケガ、感電の恐れがあります。
	本機に水などの液体をかけないでください。感電や故障の原因になります。
	電源コード・プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因になります。
	機械のすき間に異物を差し込まないでください。火災や機械の故障の原因になります。
	機械の内部や外部の掃除等に、可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。
	コンセントの近くで、いつでも電源プラグを抜ける環境で作業を行ってください。機械をご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。
	発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。すぐに使用をやめ、電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社にご相談ください。
	コードに触れて通電したりしなかったりする場合、そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。すぐに使用をやめ、電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社にご相談ください。

注意 ●ご使用上の注意事項

	使用中の機械上部およびラミネート直後のフィルムは大変高温になっています。やけどに十分ご注意ください。
	髪の毛、ネクタイ、ネックレス等の巻き込まれる危険のある物は、フィルム挿入口に近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
	ラミネート作業中は目を離さないでください。
	ラミネート以外の用途に使用しないでください。事故や故障の原因になります。
	30分以上使用しないでください。30分経過すると自動休止機能が作動します。電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で規定の時間休ませた後、再度ご使用ください。本製品は業務用ではありません。▶ P5「自動休止機能について」参照

各部の名称と働き

【本体】



① ラミネータ本体

② 操作パネル

③ 電源プラグ

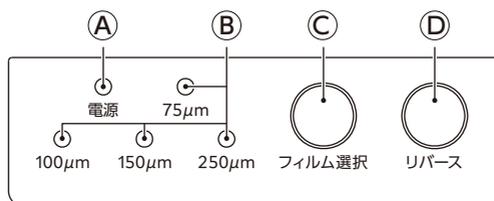
④ フィルム挿入口 (サイズ表示目安付)

⑤ 電源スイッチ

⑥ フィルム排出口

⑦ ワイヤertypeトレー

【操作部】



① 電源ランプ

電源スイッチを「入」にするとランプが点灯します。

※電源スイッチを入れてからランプが点灯するまで数秒かかる場合があります。

※一度電源を切り、再度電源を入れるなど、本体が十分に冷えていない（ローラーの温度が高い）場合は、ランプが点滅します。フィルム選択ボタンを押すと点灯に変わります。

② フィルム厚ランプ

選択されているフィルム厚が点滅します。ウォームアップが完了すると「ピー」と音が鳴って点灯に変わり、ラミネートが可能な状態になります。

③ フィルム選択ボタン

フィルム厚を選択します。ボタンを押すと選択されているフィルム厚のランプが点滅します。ボタンは長押しせず、短く1回押ししてください。

④ リバースボタン

ボタンを押すと「ピッピッピッ…」と音が鳴ってローラーが逆転します。

フィルムづまりや巻き込みが起こった場合に使用します。

もう一度押すとローラーが正転に戻ります。ボタンは長押しせず、短く1回押ししてください。

【オートリバース機能について】

オートリバース機能とは、ローラーの間にあるセンサーがつまりを検知し、

自動的にローラーが逆転してフィルムづまりや巻き込みを防止する安心機能です。

オートリバース機能が作動した場合は「ピッピッピッ…」と音が鳴ってローラーが逆転します。

▶ P10「オートリバース機能」参照

ラミネートについて

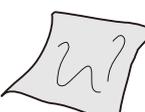
ラミネート

ラミネートとは、パック式のフィルムに原稿をはさみ込み、熱とローラーの圧力で原稿に接着することです。一度に両面がラミネートされます。

- 特長**
- ・ラミネートするとフィルムがプラスチックのように丈夫になり、原稿を水・汚れ・傷等から守ります。また、偽造防止効果も高まります。
 - ・原稿をフィルムにはさんでラミネータに通すだけの簡単操作で、美しいラミネートが可能です。

ラミネートできないもの

次のようなものはラミネートしないでください。

紙以外の物  金属・木・ガラス・ プラスチックの板や布等	クレジットカード 等の磁気カード 	熱により変色・変質 する物  感熱紙・クレヨン画等	可燃物・軟化 しやすい物  セロハン・ビニール製品等
その他、先端が尖った物や折れ曲がっている物、濡れた紙等			

- 注意** 昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿をラミネートすると、ラミネートのいかに関わらず時間経過により像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

ラミネートする前のご注意

一度ラミネートした物をはがしたり、やり直したりすることはできません。また、誤った使用方法によりラミネートを失敗すると、フィルムが詰まって故障の原因になる場合があります。ご使用方法に従い正しくお使いください。

- 注意**
- ・たった一枚しかないような大切な物はラミネートしないでください。
 - ・本機の使用による原稿等の破損・損失につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

自動休止機能について

本機の連続使用時間は30分です。30分経過すると自動休止機能が作動し、「ピー」という音が鳴りヒーターが停止します。ラミネート途中のフィルムはそのままラミネートを行えます。

音が鳴ってからは新しいフィルムを挿入しないでください。

さらに5分経過すると電源が切れます。電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で下記規定の時間休ませた後、再度ご使用ください。

75 μ m、100 μ mのフィルム厚を選択した場合 … 1時間以上休ませてください。

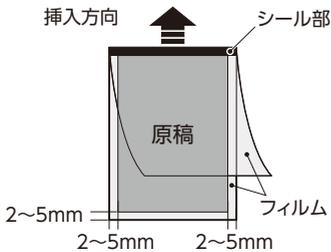
150 μ m、250 μ mのフィルム厚を選択した場合 … 2時間以上休ませてください。

ラミネートを行う

ラミネートフィルムの準備

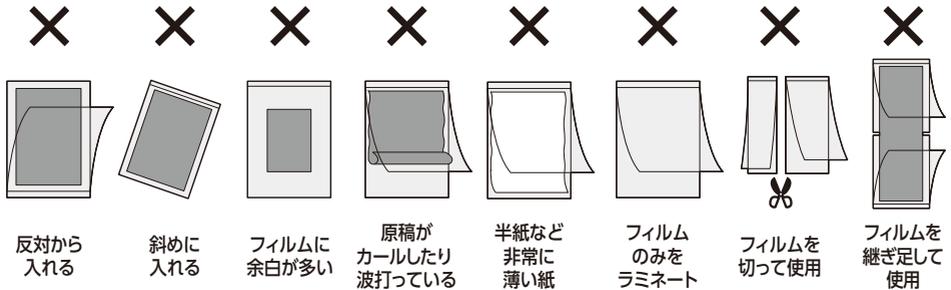
注意 フィルムは必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。
フィルムの特性が合わない、シワの発生やフィルムづまりの原因となります。

ラミネートフィルムに原稿をはさみます



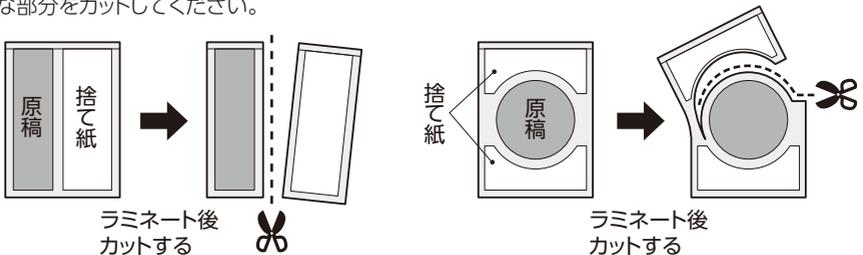
- ・ラミネートフィルムは原稿よりも2~5mm程度の大きい物をご用意ください。
- ・原稿はフィルムのシール部に当たるまで差し込んでください。余白が多いとローラーに巻き付きやすくなり、フィルムづまりの原因となります。
- ・ラミネート可能な厚みは、フィルムと原稿を合わせて最大0.6mmまでです。
※原稿の厚みが約0.3mmを超える場合は、原稿の周囲が十分に接着されない場合があります。

注意 次のようなラミネートはシワの発生やフィルムづまりの原因となりますのでおやめください。



最適なサイズのフィルムがない場合は

!! 最適なサイズのフィルムがない場合は、図のように「捨て紙」を入れてラミネートした後に不要な部分をカットしてください。

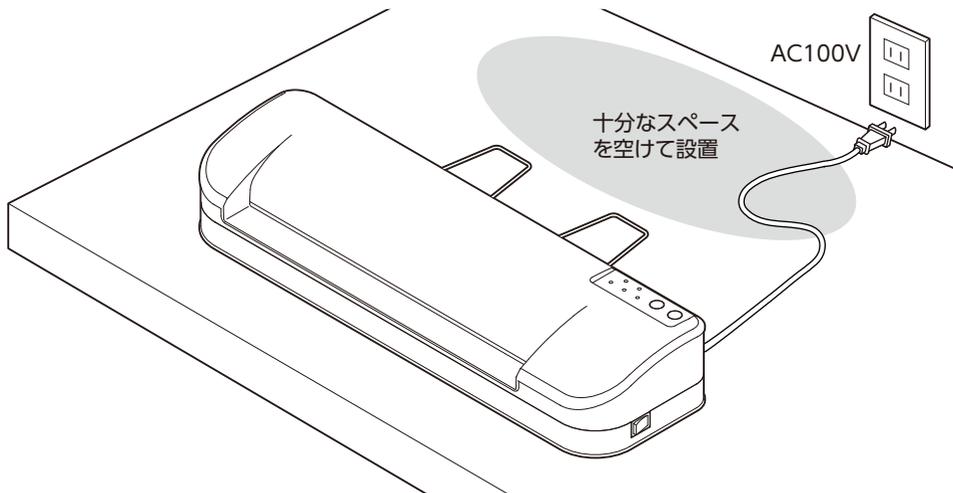


ラミネータの準備

1. ラミネータを設置します

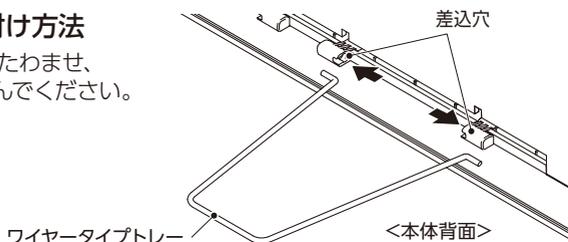
- ・ワイヤータイプトレーを取り付け、ラミネータを水平な場所に設置します。
 - ・電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ※消費電力が大きいため単独の電源を確保してください。タコ足配線は絶対にしないでください。
※コンセントの近くで、いつでも電源プラグを抜ける環境で作業を行ってください。
※使用していない時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意 ラミネータの後ろに十分なスペースを空けて、ラミネートされて出てきたフィルムが壁等の障害物に当たらないようにしてください。



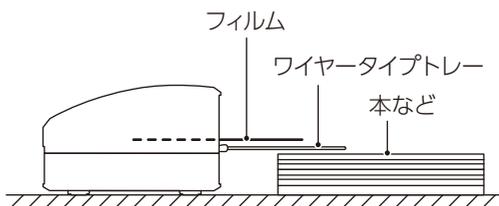
ワイヤータイプトレーの取り付け方法

ワイヤータイプトレーを内側に少したわませ、両端を本体背面の差込穴に差し込んでください。



ラミネート後にフィルムが反る場合

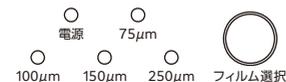
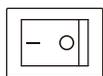
ラミネート直後のフィルムは軟らかくなっているため反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、トレーの下に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。



※フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。

2.電源スイッチを「入」にしてフィルム選択ボタンでフィルム厚を選択します

入 切



フィルム選択ボタンで使用するフィルム厚を選択してください。フィルム厚ランプが点滅しウォームアップを開始します。ウォームアップが完了するとフィルム厚ランプが点灯に変わります。

厚紙をラミネートする際、使用するフィルム厚を選択してラミネートにしても、仕上がりが白っぽくなったり、フィルムと原稿の密着が不十分と感じた場合は一段階上の温度設定でラミネートを行ってください。

※内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生することがありますが使用上の問題はありません。

・ウォームアップ時間の目安(室温約25℃の場合、条件により異なります)

75μm：約32秒 100μm：約35秒 150μm：約55秒 250μm：約60秒

・フィルム厚を切り替えたり、電源を切った後に時間を空けずに再度電源を入れ直した場合、通常よりウォームアップ時間が長くなる場合があります。

対応フィルム厚について

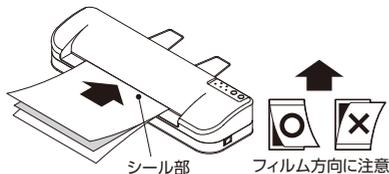
本機は75μm、100μm、150μm、250μmのラミネートフィルムに対応しています。75μm、100μm、150μm+薄紙、厚紙、250μm+薄紙のラミネートが可能です。

・原稿の例 … 薄紙：コピー用紙・カタログ・雑誌等
厚紙：写真・ハガキ・画用紙・名刺等

※250μm+厚紙のラミネートには対応していません。

ラミネートの開始

3.フィルム厚ランプが点灯したらフィルムを挿入します

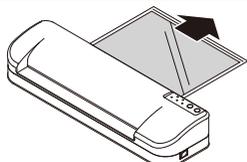


・原稿をはさんだフィルムをサイズ表示を目安にしてフィルム挿入口からまっすぐに入れます。ローラーにフィルムが当たると自動的に送り込まれます。

・フィルムを強く押し込まないでください。先端が折れ曲がりフィルムづまりの原因となります。

※必ずフィルムのシール部側から挿入してください。

4.フィルム排出口よりラミネートされて出てきます



フィルムが本体背面のフィルム排出口から出て、フィルムの動きが止まってから(ラミネートが終わってから)フィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。

・ラミネート後は速やかにフィルムを取り出してください。フィルム排出口に放置すると、余熱により折れ曲がったりシワになったりします。ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどにご注意ください。また、変形しやすくなっていますので、取り扱いにご注意ください。

・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。

ラミネートの終了

5. ローラークリーニングを行います



クリーニングペーパー

- ・作業が一通り終了したら、クリーニングペーパーを数回通してローラークリーニングを行ってください。
- ・一度にたくさんラミネートする場合は、10枚に1回程度ローラークリーニングを行ってください。

【 ▲ ページ下段「ローラークリーニング」参照】

6. ラミネータの終了

- ・電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。「フィルム厚ランプ」および「電源ランプ」が消灯し、ローラーの回転が停止します。
- ・本体が十分に冷えてから保管してください。

ローラークリーニング

ローラークリーニングを行わないと…

- ・フィルムづまりが起きる
- ・フィルムの先端が折れてラミネートされる
- ・ラミネートした物に汚れ(白い線)が付着する

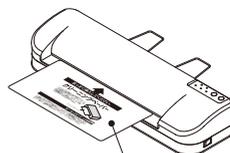


これらはフィルムからはみ出した粘着剤がローラーに付着するためです。

このようなトラブルを防ぐためにも、定期的にローラークリーニングを行ってください。

・クリーニングの方法

フィルム厚ランプが点灯した状態で、付属のクリーニングペーパーをフィルム挿入口から挿入してください。これを数回繰り返すと、ローラーに付着した粘着剤が取り除かれ、ローラーがクリーニングされます。



クリーニングペーパー

注意 クリーニングペーパーはまっすぐ挿入してください。斜めに入れると機械内部でつまり、故障の原因になります。

クリーニングペーパーがなくなったら

付属のクリーニングペーパーは繰り返しご使用いただけますが、汚れがひどくなったり、紛失した場合には厚紙(無地)で代用することができます。

ただし、プリンターやコピー機で出力された物やコーティングがされている物は避けてください。

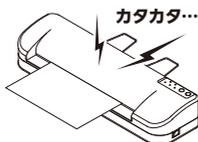
フィルムづまりのトラブル

ローラーの汚れ・フィルムに余白が多い・フィルム挿入方向の間違いなどが原因でフィルムづまりや巻き込みが起こる場合があります。オートリバース機能が作動しない場合はすぐにリバースボタンを押して手でフィルムを取り除いてください。それでも取り除けない場合は電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

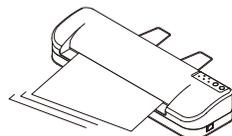
フィルムが出てこない



- 途中で止まった
- カタカタ異音が出る



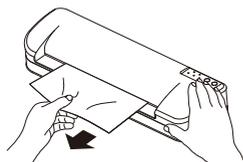
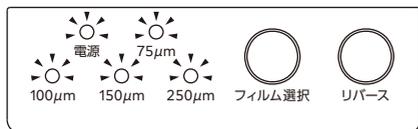
斜めに入れてしまった



注意 上図のような状態に気付かず放置した場合は、フィルムを取り除くことが非常に困難になります。機械の故障や火災の原因になります。ラミネート作業中はそばを離れないでください。

オートリバース機能

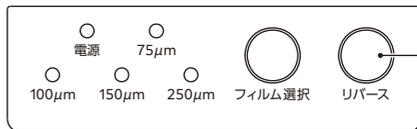
フィルムが詰まった場合、センサーが詰まりを検知し、自動的にローラーが逆転してフィルムを挿入口から排出します。フィルムを軽く引っ張りながら取り除いてください。オートリバース機能が作動すると、すべてのランプが点滅し「ピッピッピッ…」と音が鳴った状態が約30秒間続きます。音が消えた後はローラーが正転に戻ります。その後、必ずローラークリーニングを行ってください。



フィルムを軽く引っ張りながら取り除いてください。

手で取り除く場合

オートリバース機能が作動せずフィルムづまりや巻き込みが起こった場合や何らかの原因でフィルムを取り除きたい場合は、リバースボタンを短く1回押して手でフィルムを取り除いてください。ボタンを押すと「ピッピッピッ…」と音が鳴ってローラーが逆転します。その状態でフィルムを軽く引っ張りながら取り除いてください。フィルムを取り除いた後、リバースボタンをもう一度押すとローラーが正転に戻ります。その後、必ずローラークリーニングを行ってください。ボタンは長押しせず、短く1回押してください。



リバースボタン



ラミネータ本体、ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどには十分ご注意ください。



フィルムを取り除いた後は必ずローラークリーニングを行ってください。フィルムが詰まると多くの粘着剤がローラーに付着するので、そのまま使用を続けるとフィルムづまりや巻き込みが起こりやすくなります。▶ P9「ローラークリーニング」参照



上記の方法でフィルムを取り除くことができない場合は、販売店または弊社にご相談ください。お客様での分解・修理はしないでください。

故障かな?と思ったら トラブル時のチェックポイント

症状	原因／処置
<ul style="list-style-type: none"> ・排出口から出てこない ・ラミネートフィルムが途中で止まった(カタカタと異音がする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムづまりが起きています。オートリバース機能が作動しない場合は、すぐにリバースボタンを短く1回押し、フィルムを軽く引っ張りながら取り除いてください。 ▲ P.10
<ul style="list-style-type: none"> ・動かない ・電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ▲ P.7 ・電源スイッチを「入」にしてください。 ▲ P.8
<ul style="list-style-type: none"> ・フィルム厚ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常、ウォームアップはフィルム厚ごとに約32秒～約56秒で完了します。室温が低い、エアコンの冷風、扇風機の風が直接本機に当たっている場合はそれ以上時間がかかる場合があります。 ▲ P.8 ・エアコンの冷風や扇風機の風が直接本機に当たらないようにしてください。 ▲ P.8 ・フィルム厚を切り替えたり、電源を切った後に時間を空けずに再度電源を入れ直した場合、通常よりウォームアップ時間が長くなる場合があります。 ▲ P.8
<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネートフィルムが入っていない ・フィルムの端が折れて出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチを「入」にして、フィルム厚を選択してください。 ▲ P.8 ・フィルムと原稿を合わせた厚みが0.6mmを越えようとラミネートできません。 ▲ P.6 ・ローラークリーニングを行ってください。ローラーが汚れているとフィルムの先端が折れて出てきたり、フィルムづまりの原因になります。 ▲ P.9
<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネートフィルムが汚れて出てくる(白い線が付く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローラークリーニングを行ってください。 ▲ P.9 ・フィルムに付着した粘着剤の汚れは中性洗剤で拭き取り、水拭きおよび乾拭きをしてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムがつまる 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 ▲ P.6 ・カールしたり波打っている原稿や極端に薄い原稿をラミネートするとフィルムづまりの原因になります。 ▲ P.6 ・必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないと正しくラミネートできません。 ▲ P.6 ・ローラークリーニングを行ってください。ローラーが汚れているとフィルムづまりの原因になります。 ▲ P.9

症状	原因／処置
<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がりが白っぽい ・密着性が悪い ・フィルムにシワが発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚紙をラミネートする際、使用するフィルム厚を選択してラミネートをして、仕上がりが白っぽくなったり、フィルムと原稿の密着が不十分と感じた場合は一段階上の温度設定でラミネートを行ってください。 ▶ P.8 ・使用するフィルムに合わせてフィルム厚を選択してください。 ▶ P.8 ・フィルム厚ランプが点滅していませんか？ランプが点灯してからフィルムを挿入してください。 ▶ P.8 ・原稿が厚いと原稿の周囲の余白部分がしっかり密着しない場合があります。 ▶ P.6
<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムにシワが発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿が極端に薄すぎると、フィルムに熱がかかりすぎてシワが発生する場合があります。 ▶ P.6 ・湿気を含んだ原稿では正しくラミネートできません。 ▶ P.6 ・反り・折れ・シワのあるような紙は正しくラミネートできません。 ▶ P.6 ・原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 ▶ P.6 ・フィルムは原稿よりも2～5mm程度大きいものをご用意ください。 ▶ P.6 ・フィルムを挿入口に無理に押し込んだり、排出口から無理に引っ張ったりしないでください。 ▶ P.8 ・排出口から出てきたフィルムは速やかに取り出ししてください。放置するとフィルムの端が熱で折れたりシワになります。 ▶ P.8 ・エアコンの冷風や温風、扇風機の風が直接本機に当たらないようにしてください。 ▶ P.2 ・必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないと正しくラミネートできません。 ▶ P.6 ・本機の連続使用時間は30分です。30分経過すると自動休止機能が作動します。電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で規定の時間休ませた後、再度ご使用ください。 ▶ P.5
<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチを入れた後、操作をしていないにもかかわらず、すべてのランプが点滅し、「ピッピッ…」と音が鳴る 	<ul style="list-style-type: none"> ・本体に異常が発生しています。すぐに使用をやめ、電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社にご相談ください。

本体のお手入れ

本体は柔らかい布で乾拭きしてください。

※中性洗剤・化学ぞうきんなどをご使用の際はその注意書きに従ってください。

	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が冷えてから行ってください。
	本体に水などの液体をかけないでください。 ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
	本体を分解してのお手入れはしないでください、感電や故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除等に、可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。

ラミネートQ&A

Q1：写真をラミネートしても大丈夫？

A：問題ありません。ただし、インスタント写真は撮影後数日はローラーの圧力で写真の中の水分が漏れ出すことがあります。一週間程度待って写真が十分に乾燥してからラミネートしてください。

Q2：カラーコピーやカラープリンタで作成した原稿をラミネートしても大丈夫？

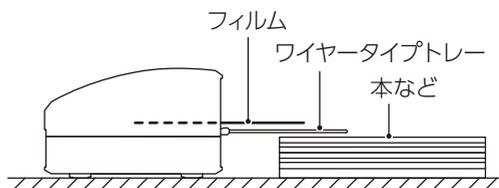
A：カラーコピー、インクジェットプリンタ、熱転写プリンタ等は問題ありません。ただし昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿は、ラミネートのいかんに関わらず時間経過により像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。インクジェットプリンタで出力した用紙はインクが完全に乾いてから(湿気の無い状態にしてから)ラミネートしてください。

Q3:作業途中でフィルム厚を変更する場合は？

A：フィルム選択ボタンを押して使用するフィルム厚に変更してください。
フィルム厚ランプが点灯が変わってからラミネートを行ってください。
※フィルム厚を変更する場合は、本体にフィルムが入っていない時に行ってください。

Q4：ラミネートしたフィルムが反るのですが…

A：ラミネート直後のフィルムは柔らかくなっているため反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、トレーの下に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。



注意 フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。

主な仕様

品番	NQL-R4HSA3
本体寸法	W470×D135(230)×H80mm ()ワイヤータイプトレイ含む
本体重量	約2.83kg
ローラー本数	4本
最大ラミネート幅	340mm(最小は名刺サイズ)
最大ラミネート厚	0.6mm(フィルムと原稿を合わせた厚み)
対応フィルム厚	75/100/150 μ m(薄紙・厚紙) 250 μ m(薄紙)
電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
消費電力	最大1,300W(50/60Hz)
ラミネート速度	最大1,000mm/分、可変(50/60Hz)
ウォームアップ時間	約32秒(50/60Hz) ※室温約25℃、75 μ m設定の場合
温度設定	約147℃
コードの長さ	約1.2m
主要材料	ABS樹脂・スチール
付属品	ワイヤータイプトレイ(2本1セット) クリーニングペーパー(1枚)

※ 改良のため予告なく仕様・外観を変更することがあります。

※ 本製品は業務用ではありません。

※ 仕様の数値は使用条件などにより変化する場合があります。

保証書

この製品は厳密な品質管理及び検査に合格し、製造出荷された製品です。しかし通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

《保証規定》

1. 本機の取扱説明書、本体貼付の注意ラベル等に従った正しい使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償で交換（同等製品への交換も含む）いたします。お買上げの販売店に製品を本保証書とともにご持参ください。
2. 次の場合は保証期間中でも有償での交換（同等製品への交換も含む）となります。
 - (a) お取扱いの不注意及びお客様ご自身による修理改造が原因の故障または損傷。
 - (b) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障または損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障または損傷。
 - (d) 本保証書のご提示がない場合。
 - (e) レシートなどの購入日を証明する書類のご提示がない場合、あるいは内容を改ざんされた場合。
 - (f) 中古品やオークションなどで購入された場合。
 - (g) お客様にて分解された場合は内容のいかんに関わらず保証適用外（有償対応）となりますのでご注意ください。
3. 製品の交換にかかる送料、交通費、梱包料等の諸費用は、お客様のご負担となります。なお、故障の内容やご使用状況によっては、交換をお受けできない場合がございます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only within Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	NQL-R4HSA3	製造番号	
保証期間	お買上げ 年 月 日より1年間		
お客様	ご住所 〒	_____	
		TEL _____ 様	
販売店	住所・店名_TEL _____		

★販売店様へ：必要事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

商品に関するお問い合わせはこちら
<https://www.nakabayashi.co.jp/support/>

ナカバヤシ株式会社

